

**平成 17 年度**

**総務局予算要求方針**

## - 目 次 -

<b>1</b>	<b>平成 17 年度総務局予算要求総括表</b> . . . . .	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>17 年度予算要求にあたっての基本的考え方</b> . . . . .	<b>2</b>
<b>3</b>	<b>予算要求の重点事項</b> . . . . .	<b>5</b>
	(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
	(2) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ	
	(3) 世界に誇れる環境の街さっぽろ	
	(4) 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ	
	(5) ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ	
	(6) その他の重点事業	
<b>4</b>	<b>事務事業の総点検</b> . . . . .	<b>12</b>
	(1) 事務事業の見直し	
	(2) 団体補助金	

# 1 平成 17 年度総務局予算要求総括表

## 【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 16 年度 予 算 額 A	平成 17 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 ( B - A ) / A
行 政 部	2,186 (1,990)	2,623 (2,203)	437 (213)	20.1% (10.6%)
秘 書 部	96 (96)	89 (88)	7 (8)	7.7% (7.9%)
広 報 部	970 (864)	890 (796)	80 (68)	8.2% (7.9%)
国 際 部	527 (445)	486 (402)	41 (43)	7.9% (9.6%)
職 員 部	107,592 (106,645)	106,817 (106,120)	775 (525)	0.7% (0.5%)
東京事務所	107 (106)	109 (107)	2 (1)	1.3% (1.3%)
合 計	111,478 (110,146)	111,014 (109,716)	464 (430)	0.4% (0.4%)

1 派遣職員にかかる人件費は含まず

2 ( )内は一般財源額

3 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある。

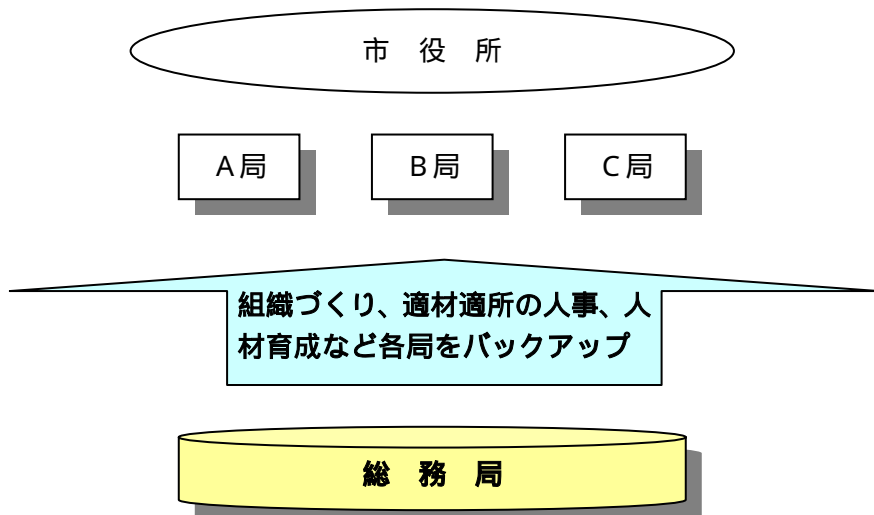
4 行政部には市役所改革推進室の予算を含む。

5 職員部には一般会計職員の人件費を含む。

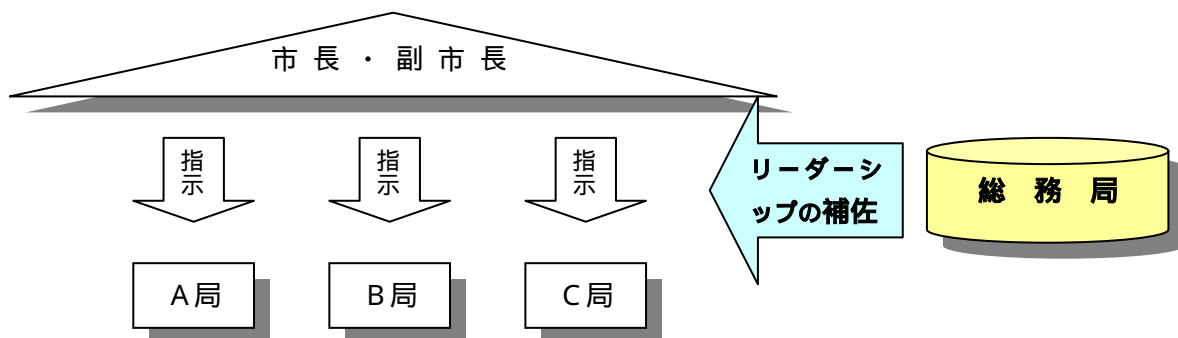
## 2 17年度予算要求にあたっての基本的考え方

市役所の中で、総務局が果たす役割は主に3つあります。

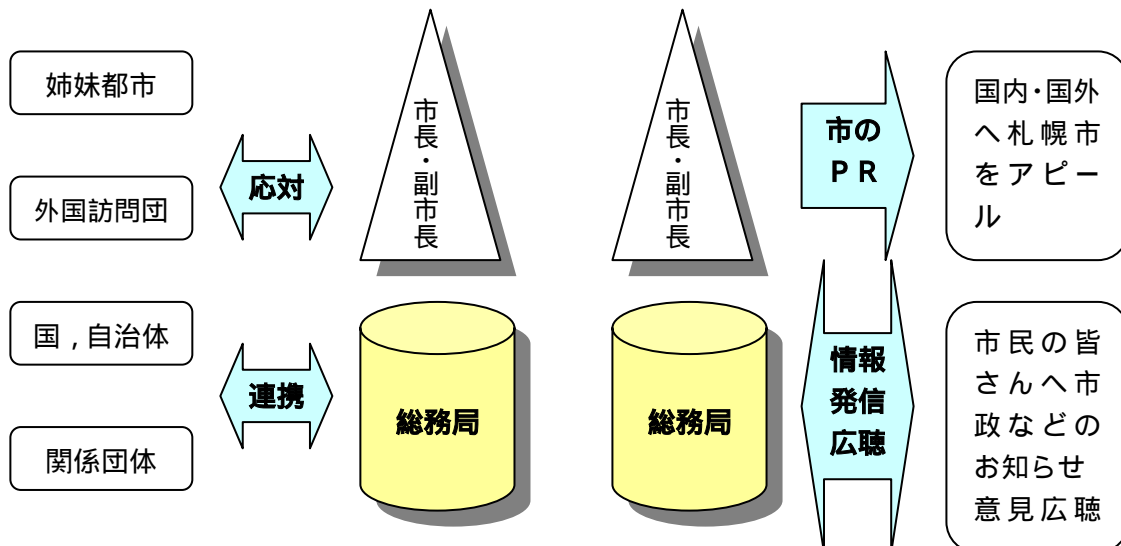
- (1) 市役所内部の裏方として、各部局が仕事をしやすい環境を整えること



- (2) 市長・副市長などのリーダーシップの発揮を補佐すること



- (3) 札幌市を代表して国内外にわたる応対・連携・PRを行うこと、及び市民の皆さんに市政などの情報提供を行うこと



総務局では、これらの役割を十分に果たすために、2つの考え方を中心に据えて17年度の予算要求を行うこととします。

(1) 「さっぽろ元気ビジョン」の実現に向けて総務局は何をすべきかをよく認識すること。

平成15年7月に札幌市は今後の市政運営の基本となる施政方針「さっぽろ元気ビジョン」を公表いたしました。これは主に3つのプラン(計画)を実行していくことにより、「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」を実現しようというものです。その3つのプランとは、次のとおりです。

【施政方針「さっぽろ元気ビジョン」実現のための3つのプラン】



総務局が局の果たすべき役割を考え合わせ、直接重点的に取組まなければならないのは、の「市役所改革のプラン」に関することです。16年度は公募市民や学識経験者などで構成された「市役所改革市民会議」を設置し、議論を重ね、これからの市役所のあるべき姿を描いたところです。17年度はこれをいよいよ実行に移していくこととなりますが、それを我々職員の視点だけで実行しては本当に効果のあるものとはなりません。そこで、実行に当たっては、引き続き会議を継続し、メンバーから改革の進み具合について市民の視点で定期的に厳しくチェックしていただき、様々なご意見などをいただきながら、実のあるものにしていきます。

この市役所の改革は、の「市民自治推進のプラン」、の「まちづくりのプラン」の土台ともなるべきものです。全市が一丸となって「さっぽろ元気ビジョン」をスムーズに実現し、確実なものとするには、まず市役所自身が変わらなければなりません。

また、総務局は、直接市民の皆さんの目に見える形での事業を実施するというよりは、前のページにおいて局の役割について説明したとおり、事業を実施する各局を市役所の裏方として支援することを主な役割としています。

そこで、の「市民自治推進のプラン」、の「まちづくりのプラン」に基づき事業を実施する各局に対して組織づくり、適材適所の人事、人材の育成など様々な側面から支援し、「さっぽろ元気ビジョン」を実現するため、各局が仕事のしやすい環境づくりを進めていきます。

## ( 2 ) 効率化と重点化を基調として予算を組み立てること。

前のページにおいて総務局は「元気ビジョン」の実現に向けて何をすべきかをしっかりと認識したところです。そのうえで、実際のお金のやり繰り、つまり、予算を組み立てるに当たっては、総務局内の仕事について、市民の皆さんの目線でどうしたらもっと効率がよくなるのかを考え、見直しを行い、その結果、生み出されたお金や人などの資源を、必要な仕事に重点的に配分することが必要です。

そこで、

慣例や、従来 of 枠組にとらわれることなく、積極的に仕事の統廃合などを行うこと

仕事の成果をあげるため、限られたお金や人などの資源を必要な仕事に重点的に配分すること

局内の議論を深め、無駄のない、効率的な中身の仕事にすること

以上、3つの視点から、総務局全体の仕事の再点検を行ったうえで、予算を組み立てることとします。

### 3 予算要求の重点事項

「札幌新まちづくり計画事業等」として局配分枠とは別枠要求を認められた事業及び局配分枠内の主要事業について、「札幌新まちづくり計画」の5つの基本目標と17の重点戦略課題の実現に資する事業は、(1)～(5)に整理し記載する。

#### (1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

地元企業の振興を通して本市の経済を活性化させるため、首都圏における販路拡大支援等を実施する。

##### 1 中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

10百万円(10百万円)

注:( )内は16年度予算額

首都圏市場開拓イニシアティブ事業(東京事務所)

10百万円【新まち等、レベルアップ】

地元IT関連企業の首都圏進出を支援するため、東京事務所を拠点に、人と企業の交流促進、販路拡大支援等を実施する。

#### 【成果指標】

支援企業数 【目標】3社 10社 【17年度効果】+2社(累計25社)

事業参加首都圏企業数  
【目標】9社 100社 【17年度効果】+22社(累計197社)

ビジネスラウンジ利用者数  
【目標】240人 300人 【17年度効果】+60人(累計540人)

### 3 協働による観光振興とコンベンション事業の推進

46百万円(44百万円)

注:( )内は16年度予算額

#### ア 首都圏シティPR事業(東京事務所) 29百万円【新まち等、レベルアップ】

札幌への観光客の誘致促進を図るため、観光の主要マーケットである首都圏をターゲットに山手線公共交通機関、旅行情報誌などのメディアを活用した広告掲出やイベント等シティPRを行う。

#### イ ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 開催費負担金(国際部) 11百万円【配分、継続】

大通公園を会場にして、市民及び観光客にクリスマス用品・飲食物を提供し、本市の姉妹都市ミュンヘン及びドイツの文化紹介等を行う、「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」の実行委員会に対し負担金を支出する。

#### ウ 東アジア都市間文化交流事業(国際部) 3百万円【配分、継続】

平成16年度に制作したフィルムを活用し、韓国大田市で「札幌都市セミナー」を開催し、札幌を紹介するほか、中国・韓国の映画関係者と市内映画関係者との技術交流・連携の可能性を探る。また中国長春市での世界冬の都市市長会議において、本事業を会員都市間のモデル事業として紹介する。

#### エ 在住外国人支援施策推進事業 3百万円【配分、継続】

外国人市民向けに、生活に必要な情報を本市ホームページ上で提供するとともに、市民、団体、外国人市民、大学関係者等からなる会議を運営し、協働による国際化のまちづくりについて検討していく。

【成果指標】( : 上記ア~ウ共通 : ウ)

年間来客者数 【目標】1,325万人 1,500万人

【17年度効果】+44万人(累計1,457万人)

来札外国人宿泊者数(延べ宿泊者数)

【目標】232,072人 400,000人

【17年度効果】+50,000人(累計350,000人)



#### 4 さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出

10百万円(10百万円)

注:( )内は16年度予算額

##### 首都圏市場開拓イニシアティブ事業(東京事務所)【再掲】

10百万円【新まち等、レベルアップ】

地元IT関連企業の首都圏進出を支援するため、東京事務所を拠点に、人と企業の交流促進、販路拡大支援等を実施する。

##### 【成果指標】

支援企業数 【目標】3社 10社 【17年度効果】+2社(累計25社)

事業参加首都圏企業数  
【目標】9社 100社 【17年度効果】+22社(累計197社)

ビジネスラウンジ利用者数  
【目標】240人 300人 【17年度効果】+60人(累計540人)

#### 5 アジアを中心とした産業ネットワークの拡大

6百万円(7百万円)

注:( )内は16年度予算額

##### ア 在住外国人支援施策推進事業(国際部)【再掲】 3百万円【配分、継続】

外国人市民向けに、生活に必要な情報を本市ホームページ上で提供するとともに、市民、団体、外国人市民、大学関係者等からなる会議を運営し、協働による国際化のまちづくりについて検討していく。

##### イ 東アジア都市間文化交流事業(国際部)【再掲】 3百万円【配分、継続】

平成16年度に制作したフィルムを活用し、韓国大田市で「札幌都市セミナー」を開催し、札幌を紹介するほか、中国・韓国の映画関係者と市内映画関係者との技術交流・連携の可能性を探る。また中国長春市での世界

冬の都市市長会議において、本事業を会員都市間のモデル事業として紹介する。

### (3) 世界に誇れる環境の街さっぽろ

世界の冬の都市とネットワークを構築し、冬の市民生活の向上を図る。

## 3 北国らしいゆたかな冬の暮らしの実現

27百万円(18百万円)

注:( )内は16年度予算額

### ア 世界冬の都市市長会議事業(国際部) 13百万円【配分、レベルアップ】

「快適な冬の都市」の創造を目的に、会員都市市長が一同に集まり、共通する冬の課題について話し合う「市長会議」を中国長春市で開催する。また、冬の課題に係る事前調査・分析や会員都市間の共同事業の企画立案などについて、実務者間で検討する「実務者会議」を韓国太白市で開催する。

### イ 世界冬の都市市長会共同事業(国際部) 3百万円【配分、継続】

平成17年9月に東京で開催される「JATA世界旅行博2005」に世界冬の都市市長会として出展し、札幌市を含む会員都市が共同で観光PRを行う。

### ウ ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 開催費負担金(国際部)【再掲】 11百万円【配分、継続】

大通公園を会場にして、市民及び観光客にクリスマス用品・飲食物を提供し、本市の姉妹都市ミュンヘン及びドイツの文化紹介等を行う、「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」の実行委員会に対し負担金を支出する。

#### 【成果指標】(上記ウ)

冬期間の来客者数(11月~3月の観光客数)

【目標】431万人 490万人

【17年度効果】+15万人(累計 475万人)

#### (4) 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

札幌の歴史を知るうえで貴重な資料となる歴史的な価値の高い公文書等の保存・活用を図る。

##### 1 芸術・文化の薫る街の実現

6 百万円 ( 2 百万円 )

注 : ( ) 内は 16 年度予算額

歴史的公文書等保存事業 ( 行政部 )                      6 百万円【新まち等、新規】

歴史的価値のある公文書等の収集整理作業を行い、将来の公文書館の整備に向けた準備を進める。

#### (6) その他の重点事業

##### システム整備

3 5 2 百万円 ( 1 5 4 百万円 )

注 : ( ) 内は 16 年度予算額

ア 文書システム整備事業 ( 行政部 )    1 8 2 百万円【新まち等、レベルアップ】

本事業では、行政内部の事務処理のスピードアップ・正確性の確保及び情報公開をはじめとする市民サービスの向上を目的として、今までの紙の文書による事務処理から、電子的な文書を中心とした事務処理へ移行するためのシステムを設計・開発する。

イ 事業情報一元化システム関係費 ( 市役所改革推進室 )

2 百万円【新まち等、レベルアップ】

予算要求から事業の実施・評価まで、事業のライフサイクルの段階で発

生する情報を一括管理するシステムで、事業や計画の見直しなど、様々な意思決定の情報源として活用する。

【成果指標】(上記イ)

重大なトラブル件数

ウ 人事給与系庶務業務自動化システム構築事業(職員部)

168百万円【新まち等、レベルアップ】

各所属で行う人事給与の庶務的業務を効率化するためのシステムを新たに構築する。17年度は、16年度に着手したシステムの開発を継続すると共に、18年度からの本格的なシステム稼働開始に当たり必要となる、既存の人事給与システムの改修を実施する。

施設の改修・改築

482百万円(7百万円)

注:( )内は16年度予算額

ア 本庁舎高層階エレベーター改修工事(行政部)

232百万円【新まち等、レベルアップ】

本庁舎高層階用エレベーターの老朽化対策として更新する。16年度～18年度の3ヵ年で実施し、16年度は基本設計を行い、17・18年度に各2台ずつ改修を行う。

イ 本庁舎動力盤改修工事(行政部)

79百万円【新まち等、新規】

動力盤(設備一般に電力を供給制御するための装置)の老朽化対策として更新する。

ウ 本庁舎自家発電機改修工事(行政部)

171百万円【新まち等、新規】

非常用自家発電機(災害対策本部電源及び防災電源)の老朽化対策として更新する。

その他

9 1 百万円 ( 1 2 9 百万円 )

注 : ( ) 内は 16 年度予算額

ア 市役所改革プラン推進事業 ( 市役所改革推進室 )

7 百万円【配分、継続】

施政方針「さっぽろ元気ビジョン」を実行に移すための3つのプランの1つとして、市役所改革市民会議の議論・提言を踏まえ、平成16年度に「市役所改革プラン」を策定した。

今後は、この市役所改革プランに基づき、市民の皆さんに実感していただけるよう、市役所の改革を推進するとともに、当面、市役所改革市民会議において、改革の取組み状況を外部の視点でチェックしてもらおう。さらに、改革プランのうち市民の皆さんが実感しやすい市民対応に関する部分については、サービスアップ行動計画に基づく取組を引き続き展開する。

【成果指標】(上記ア)

市職員の仕事ぶりについての満足度 ( 市政世論調査 )

イ 行政評価制度推進事業 ( 市役所改革推進室 )

3 百万円【配分、継続】

これまでの事務事業評価制度に加え、施策レベルでの評価を行うとともに、第三者評価委員会を設置し、内部の視点に加えて外部の視点での評価を行う。さらに、評価結果を分かりやすく公表し、市民意見を反映させることで、市政への市民参加の推進を目指す。

【成果指標】(上記イ)

- ・評価が改善に結びついたと感じる職員の割合
- ・評価結果に対する市民意見数

ウ 平和都市宣言普及啓発費 ( 行政部 )

3 百万円【配分、継続】

広く市民に平和について考え、平和の尊さを認識していただく契機となるよう平和パネル展など平和都市宣言の普及啓発に資する事業を行う。また、国内外の都市との連携・交流を推進するための事業にも取り組む。

エ まちづくり基礎調査・研究 ( 行政部 )

3 0 百万円【配分、継続】

本市が抱える構造的な政策課題、将来を見通した中・長期的な政策課題、あるいは現在顕在化していないが将来の発生が予測できる政策課題に対し、多様な研究手法を活用しながら、先行的・創造的な視点、総合的・横断的な視点に立って調査・研究し、政策案を立案する。また、研究成果の活用

を促進するために、研究成果を職員・市民と共有する。

オ 市民意見の政策反映（広報部） 3百万円【配分、新規】

寄せられた市民意見から、施策に結びつく可能性の高い意見を抽出・評価する。庁内検討会議を経た上で市民の意識調査等を実施し、施策への反映を進める。結果については、ホームページで市民に公開する。

カ 札幌・瀋陽友好都市25周年記念事業（国際部） 6百万円【配分、新規】

札幌・瀋陽の友好都市提携25周年を記念して、訪問団を相互に派遣し、それぞれの都市において、記念行事を行う。

キ 札幌・ノボシビルスク姉妹都市15周年記念事業（国際部）  
6百万円【配分、新規】

札幌・ノボシビルスクの姉妹都市提携15周年を記念して、訪問団を相互に派遣し、それぞれの都市において記念行事を行う。

ク 札幌国際プラザ基金造成費補助事業（国際部） 30百万円【配分、継続】

市民の海外交流推進のための各種行事等を行う、(財)札幌国際プラザの基金造成に対して補助金を支出する。

ケ 海外自治体職員受入交流事業（国際部） 3百万円【配分、継続】

海外の地方公共団体職員を6ヶ月程度受け入れ、総合的な地域経営のノウハウや技術などを活かした研修を実施し、ひとづくりへの国際協力を行うとともに、受け入れた研修員と市民との交流を進め、市民の国際理解を促進する。

## 4 事務事業の総点検

### (1) 重点取組項目

人件費の見直し（給与改定、寒冷地手当の見直し等）

<見直し額844百万円>

### (2) 事務事業の見直し

内部効率

一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額132百万円>

庁舎案内業務の委託化等による職員数の見直し

<見直し額 3 6 百万円>

本庁舎施設等の維持管理の内容の見直しによる経費節減

<見直し額 1 8 百万円>

サービス水準など

市民見学会の事業規模縮小等

<見直し額 3 1 百万円>

- ・テレビ広報を縮小する（特別番組について廃止。レギュラー 5 番組で対応する。）
- ・市民見学会について個人見学を廃止し、団体見学を 4 割縮小する。

(3) 団体補助金

廃止 1 件 削減 6 件

<見直し額 1 百万円>

（単位：千円）

団体名	17 年度予算要求額	見直し額
法律扶助協会札幌支部	6 5 0	1 1 5
札幌姉妹都市協会	4 , 0 0 0	5 0 0
(学)北海道インターナショナルスクール	1 , 8 0 0	2 0 0
(学)北海道朝鮮学園	1 , 8 0 0	2 0 0
北海道・ロシア極東交流事業実行委員会	3 5 0	5 0
日本ユーラシア協会札幌支部	0	1 0 0
国際連合大学	5 0 0	1 0 0